

## 令和５年度 学校総合評価

### 6 今年度の重点目標に対する総合評価

「自律・鍛錬・信愛」の校訓のもと、「豊かな心と健やかな体で、学問・スポーツ・芸術に打ち込み、志を高く、世界を見つめる人間を育てる」という本校の教育目標を達成するため、「進路目標の実現」と「社会性の育成」を柱とした教育計画の中から、今年度、重点的に取り組む５項目の課題を設定した。これらの課題の解決に向けた方策と達成目標を具体的にした「アクションプラン」を、全校生徒には１学期の終業式後に説明し、保護者には１学期保護者会で配付して、生徒の意識を高めるとともに保護者の協力を得た取り組みとなるよう努めてきた。

#### (1) 学習活動（学習指導）

「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業に対して、主体的に学習に取り組んだと自己評価できた生徒の割合が６０％以上を目標にしたところ、６１．９％の達成率となった。互見授業による意見交換や学校訪問での研究授業等があり、また新教育課程２年目の年となり、各教員の授業へ工夫や研究成果が発揮できている。また、ICT環境が充実し、ICTの効果的な活用が定着し、多くの授業で実践されている。アンケートでは「授業は興味がわきやすい」と４８．４％、「授業を通して学力がついた」７５．３％と前年度よりかなり増加している。しかし、学力格差が大きく、指導方法にも工夫が必要である。

#### (2) 学習活動（国際理解教育）

全校生徒対象に毎朝５分間実施するSET（Short English Time）プログラムは、目標の８０％近くの生徒が有意義だと回答している。リスニング効果が高く、各種検定試験の結果からも高い数値が出ている。しかし、それ以外の２０％の生徒へは、海外語学研修の準備や実体験等を通して活動への理解を深めていくことが大切である。また、第２外国語の学習でも８０％程度の生徒が意欲的に取り組んでいる。海外語学研修が今年度から再開され、各コースで事前・事後学習に取り組み、第２外国語を学ぶ意義を深めていった。また、海外文化講演会で海外勤務の体験談を聞いたり、韓国、ロシア、中国の料理を作って食べる体験学習を企画したりした。

#### (3) 学校生活（生徒指導、保健衛生）

モラル意識の向上に心がけている生徒の割合は、「服装や身なり」が９４％、「時間を守る」が９６％、「公共の場でのマナー」９８％、「挨拶の励行」９７％で、目標の９５％以上を上回ることはすべてできなかったが、ほぼ達成できたとみなせる。毎学期、生徒に表彰するスーパーモラルの顕彰制度や全校集会を通して、マナー意識を考えさせていた。また、ＰＴＡ活動を通して、保護者の協力・理解を得て、生徒が相互にモラル意識を高めあうことにつなげることができた。

清掃活動では昨年度と比較し、清掃への意欲的な取組が９３．１％と若干減少したが、ゴミの分別の意識では９６．３％と上昇した。生徒は清掃を真面目に取り組むことができ、ゴミの分別も定着してきたが、夏の暑さの影響でペットボトルの消費量とともに捨て方（中身が入ったまま）などの問題点もあった。

#### (4) 進路支援

職業ガイダンスや高大連携事業を本校で開催したり、オープンキャンパスや体験授業、インターンシップ等に積極的に参加したりして、進路意識を高め、進路目標を明確にさせる取り組みを行った。しかし、２学年３学期のスタート時点で進路希望先を決定できた生徒の割合は、目標より低くなった。例年通りの結果であるが、この時期での進路先の設定は難しいと感じる。しかし、自分の進路に満足している生徒の割合は９０．８％に達しており、その中でもとても満足のいくと回答する者が６２％であった。学校でのきめ細かい指導が一定の効果を上げていると考える。

#### (5) 特別活動（地域交流活動と読書指導）

地域の諸活動に半数の生徒が参加した。参加した生徒の９割以上は充実感を感じ活動に取り組んでいた。今年度は参加していない生徒でも、８割の生徒は参加したいと考えている。

読書教育を充実させるために移動図書を設置したり、図書館の特集コーナーを工夫したりしてきた。移動図書の設置でいつでも自由に本を手にすることができ、本への興味・関心をよせる者がいた。また、図書委員会の活動では、委員の生徒からの意見を反映させ「BOOK TALK」、「図書だより」の発刊に関わることができ、生徒の目線でのお知らせができた。

### 7 次年度へ向けての課題と方策

次年度は、学習指導要領改訂から３年目になり、カリキュラムの設定や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習評価を生かした授業の改善を見直し、計画的・継続的に個に応じたきめ細かな指導ができるようにする。

国際交流の推進に向け、海外語学研修の一部再開とその実施方法の工夫、新規の友好校の開拓、ホストファミリーの受け入れ計画、第２外国語の学習意欲を喚起、SETプログラムの継続的な実施など学習体制を確立する。

進路目標を明確にするために、ＰＴＡの方や卒業生の方、地域の方など外部講師を招聘し、キャリア教育を意識した指導の実践を計画的に行い、自己の適性を知り、進路目標の早期決定や早期対策につなげていく。

生徒の読書に対する意欲を高めるために、各教室に配置する本の選定方法や電子書籍の活用など検討して、読書活動を充実させる。

本校の特色的な学科とその学びの重要性を多方面から発信する。